

令和5年度 看護開発研究会 「対話をととしたイノベーションの創出」

日時：令和5年7月23日（日）9時30分～12時40分

場所：高知県立大学池キャンパス看護福祉棟F206教室（ハイブリッド開催）

参加者：49名

（教員4名、博士後期課程修了19名、博士後期課程在籍中11名、博士前期課程修6名、博士前期課程在籍中9名）

看護学部同窓会大学院部会では、修了生と在学生の皆様に学術的なネットワークづくりの場を提供し、相互に研鑽を深めていただくとともに、看護学の新たな知の創造を図るために、例年、高知女子大学看護学会の翌日に「看護開発研究会」を開催しています。今年は、4年ぶりに対面にて開催することができました。

3名の博士後期課程修了生に演題発表をしていただき、「それぞれの先生方の研究の軌跡を知ることができ、社会のニーズに答えていくこと、（社会での活用段階では）シンプルに示していくことといった、第三者への伝え方などポイントになる指摘をいただきました。」などの感想が聞かれました。

その後、参加者5～6人のグループにて、互いの研究活動などを共有してディスカッションし、発表を行いました。「普段は院生同士、又は教員と生徒の関係でしか話をすることがありませんが、今回同じ研究者として話をしているように感じました。また、自身も研究者の一員になることができているように感じました。」「『アカデミア』としてのディスカッションが刺激的でした。」などの感想より、とても実りのあるディスカッションができたことがうかがえました。

最後に、コメンテーター野嶋佐由美前学長よりお言葉をいただきました。刺激を受けた参加者から、「頑張って研究者としてのヒストリーを考え、作っていかねばと思えました。」「励まされる部分もあり、反省する部分もありで、想像していたよりも楽しい時間となりました。欲張りすぎないように、地道に自分のできることを続けていきたいと思えます。」との感想がありました。明日からのあゆみを考えることにつながったことと思われまます。

看護開発研究会は、来年も高知女子大学看護学会の翌日に開催を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

